

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎看護学実習 I (日常生活援助)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	柏原 弘子	実務経験と その関連資格	看護師 病院、施設等で19年勤務 教育機関等勤務		

《科目目標》

<基礎看護学実習 I -①>

地域で暮らす人々の療養の場の多様性を学ぶ。

<基礎看護学実習 I -②>

対象の生活や環境を理解し、療養生活をおくる対象とのコミュニケーションの在り方を知る。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】基礎看護学実習 I の評価表に基づいて行う

【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

【配分】基礎看護学実習 I -①25点、基礎看護学実習 I -②75点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 II □

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場でこれまでに学び、演習してきたことを考え実践することで、多くの知識・技術・態度を身につけることを目指す

実習プログラム

実習期間 時間数	<基礎看護学実習 I -①> 2023年 6月 <基礎看護学実習 I -②> 2023年 9月
実習の目的	<基礎看護学実習 I -①> 在宅に移行する場としての医療施設を知る。 療養の場としての介護施設を知る。 在宅で生活する対象を支える通所施設を知る。 <基礎看護学実習 I -②> 対象の療養環境と行われている日常生活援助について知る。 コミュニケーション技術を用いて対象を理解する。 看護学生として自覚を持ち行動できる
実習の内容	<基礎看護学実習 I -①> 1)施設の役割、機能を知る。 2)施設内での1日の過ごし方について知ることができる。 3)療養環境を知る。 <基礎看護学実習 I -②> 1)対象の療養環境と対象の1日の過ごし方を知る。 2)対象の日常生活の必要性とその方法の意味を考える。 3)原理原則に基づき日常生活援助が実施できる。 4)実施した援助を安全・安楽から振り返り次の工夫点を考えられる。 5)コミュニケーション技法を用いて対象の思いを知ることができる。 4)看護学生としての行動がわかる。